

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2年次 花崎 宏子

1. はじめに

今回、国際交流基金助成金を受けて2019年3月4日～3月18日の約2週間のオーストラリアのキングスクリフでの薬学研修を行ったことを報告致します。滞在期間中、ホームステイをしながらオーストラリアニューサウスウェールズ州のNorth Coast TAFE Kingscliff 校にて本学23名の学生が勉強をしました。

2. North Coast TAFE Kingscliff 校での活動

現地の学校はとても開放的で自然に囲まれておりホームステイ先から車で約10分のところにありました。また、バス通学の場合はTAFEのIDカードを見せると割引され通常のバス価格よりも安く通うことができます。ちなみに、バスは平日に1時間に一本のペースできました。学校は職業訓練校であるため様々な世代の人々が学びたい分野を熱心に勉強していました。学校では英語やマッサージを学んでる人たちと英語で交流をしました。サポートも充実し多様な国の人と通じ合える学校であると思いました。

・English class

English class は、午前9時から始まりオーストラリアの地形や気候、アボリジニ、動物、ゲームなどを扱って英語を聞くだけでなく話すことに挑戦しました。授業を通して英語をアウトプットするという楽しみながらできました。授業の最終日には、ポツビルにある小学校に行き、日本の文化であるあやとりや福笑い、折り紙などの遊びやすしづくりなどで簡単な英語で子供たちと交流しました。現地の子供たちは喜んで参加してくれました。



写真1. 交流のために制作した福笑い

・Pharmacy class

午後には、薬学授業があり、オーストラリアの保険制度や薬局の仕組み、薬剤師の役割等について学びました。また、実際にグリフィス大学にいき薬が何から発見されたのかを知り、実験室や教室、模擬薬局を見学し、クリーム調合や薬のパッキングも体験しました。薬局にも行き、薬の陳列の仕方や調合室を見学することができました。オーストラリアは、日本と違い、スケジュールをもとに薬の取り扱いを段階的に分け、陳列の仕方も危険な薬は子供が手に届かないところに置くなど国民への薬に対する危険性の意識づけが強いと感じました。



写真 2. パッキング体験



写真 3. 薬局見学

・その他の課外授業

TAFE で学ぶ生徒さんによるマッサージ体験やアボリジニの方からブッシュ・タッカーについて教えてもらい先人の知恵や文化に触れました。日曜には、カランビン動物園に行き、コアラを抱いたり、カンガルーに触ったり、鳥のショーを見たりと様々な動物を観察できました。オーストラリアのことをより深く学べる時間を過ごせました。



写真 4. アボリジニ文化体験



写真 5. カランビン動物園

3. ホームステイ

各学生は、学校に近いキングスクリフや一番遠いポッツビルなどの家庭でホームステイをしていました。私の場合は、カジュリナという静かな住宅街で夫婦と犬一匹、鳥一羽がいる家庭でホームステイをしました。家は日本と違い、とても一部屋が広々としており開放的でたくさんの植物に囲まれていました。平日は、家に帰るとベランダに出ておやつを食べながらクールダウンしていました。その後、ホストマザーにクリークやビーチ、犬の散歩、貝殻広いなどたくさんの場所に連れて行ってもらいました。また、家にはプールがあったのでホストマザーと一緒に泳ぎ、海で遭難したときの対処の仕方について教えてもらいました。夜になるとホストファミリーが家に帰宅して全員で食事をしました。毎晩、色々な国の料理が出て、飽きることなくおいしく食べました。ただ、魚がホストファミリーは嫌いだったため肉料理がメインでした。食後は、色々な会話やテレビを見て過ごしていました。特にホストファミリーは動物をこよなく愛していたので沢山のオーストラリアの動物について話してくれました。週末は、もっと遠出して、娘さんのいるブリスベンに訪れたり、バイロンベイやショッピングモールでの買い物、タートルホスピタルでウミガメの保護について話を聞いたりと多くの体験をさせてもらいました。とても優しく時には厳しくと家族のように接してもらえました。



写真 6. タートルホスピタル



写真 7. ホームステイ先付近のビーチ

4. 最後に

初めてのホームステイだったため一人でできるかとても不安でした。実際に行ってみると2週間はあっという間に過ぎてしまいました。ホストファミリーとの会話はとても難しくオーストラリア英語を聞き取るだけでも四苦八苦していました。なので、ジェスチャーを交えてコミュニケーションをとろうと頑張りました。こうやって、どうしたら上手く会話が成り立つのか物凄く頭を使い、自発的になろうとしたところが成長した部分ではないかと思います。また、生活様式や文化の違いに触れ、より自分の視野を広げられました。今後の自分の成長に繋がる時間をオーストラリアで過ごせて感謝したいです。